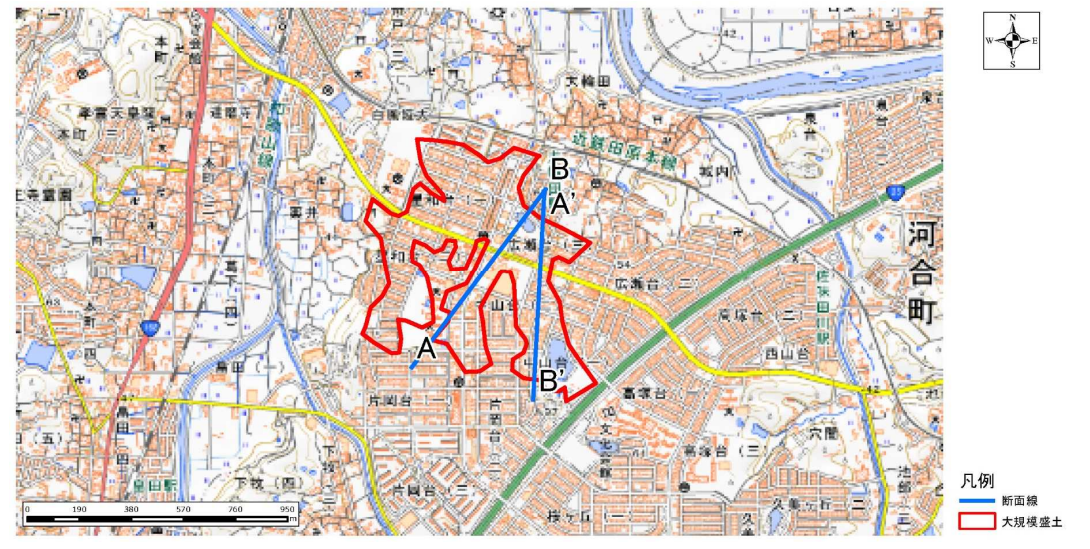


宅地概要 (第一次スクリーニング結果)								
盛土番号	河合-3-1	宅地名	広瀬台、中山台	造成(許可)年代	S41~S51			
所在地住所	河合町星和台1丁目							
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 (<input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 <input type="checkbox"/> 腹付け型) <input type="checkbox"/> 自然斜面							
盛土形状	盛土面積A	77319 m ²	盛土幅W	255 m	盛土距離d	321 m	天端幅(腹付け型)L	m
	盛土高さH	12 m	盛土厚さD	m	元地盤勾配α	2 °		

【位置図】

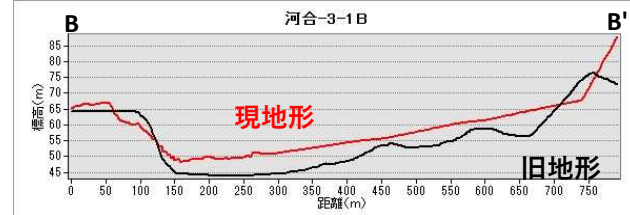
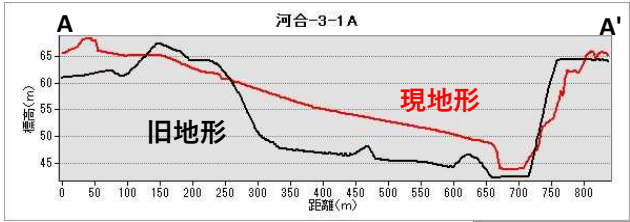


宅地概要 (第二次スクリーニング計画の作成)		
優先度評価項目	判定	記事
① 盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当	<input type="checkbox"/> 非該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当	
② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
③ 地下水	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 可能性有	
④ 盛土の下の不安定な土層	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 不明	
⑤ 造成年代(基準年以前/以後)	<input checked="" type="checkbox"/> 以前 <input type="checkbox"/> 以後	
⑥ 変動確率	<input checked="" type="checkbox"/> 大 <input type="checkbox"/> 小	

【総評】	想定被害形態
	広範囲に及び宅地造成地であり、盛土の末端部は区域の北側となるが大規模な盛土構造物は無く、すりつき型の谷埋め型盛土である。盛土内には戸建ての住宅が建ち並び、県道沿いは商業地が主となっている。盛土内には目立った変状は見られなかった。また、盛土内に湧水の痕跡は見られない。連続性の高い変状や、変状の集中域等が見られないことから、盛土全体が不安定化している兆候はないものと考えられる。造成年代は基準年以前である。以上より、当該箇所の優先度は「B3」と評価した。 想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。
	優先度

B3

【断面図】



宅地概要 (第二次スクリーニング)						
【地盤定数】			【安定計算結果】			
代表N値	単位体積重量 (kN/m ³)	粘着力 (kN/m ²)	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)	常時	地震時
盛土						
地山						

変動予測調査後

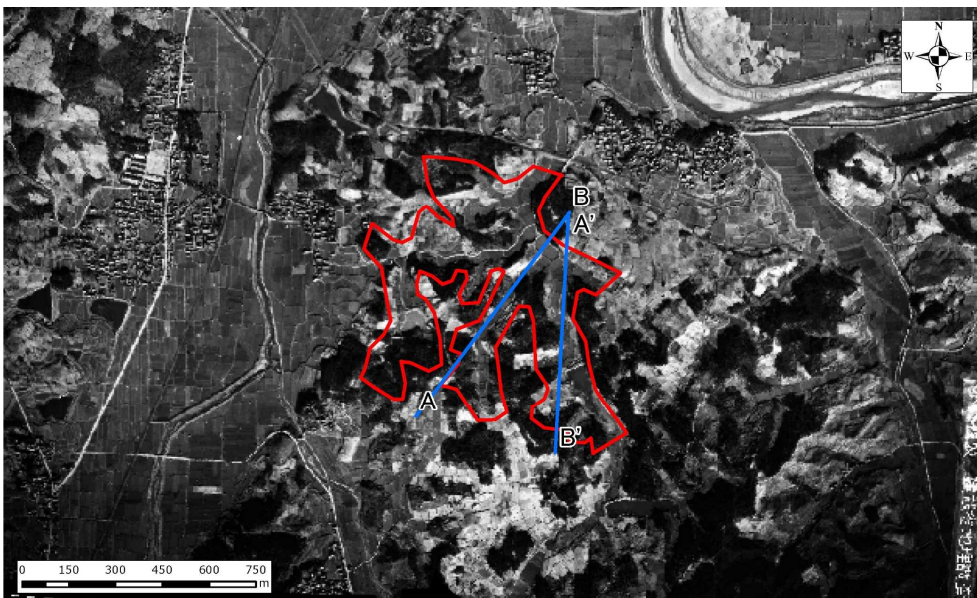
【総評】	【工事の記録】
	【点検の記録】

宅地カルテ（第一次スクリーニング結果）

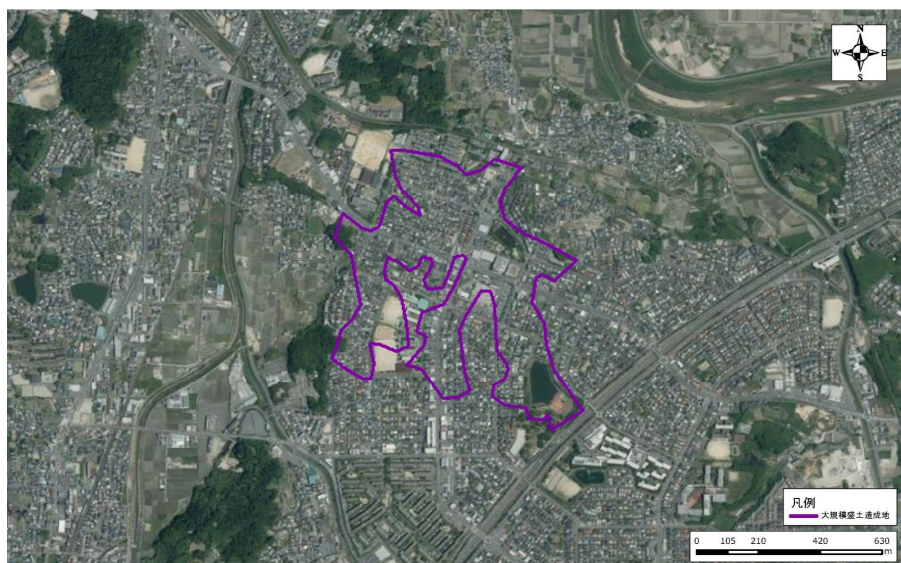
様式2

盛土番号	河合-3-1	宅地名	広瀬台、中山台	造成年代	S41~S51	盛土形状	盛土面積A	77319 m ²	盛土幅W	255 m	盛土距離d	321 m	天端幅（腹付け型）L	m
所在地住所	河合町星和台1丁目					盛土形状	盛土高さH	12 m	盛土厚さD	m	原地盤勾配α	2 °		
盛土形式	<input checked="" type="checkbox"/> 人工造成地 （ <input checked="" type="checkbox"/> 谷埋め型 <input type="checkbox"/> 腹付け型 ） <input type="checkbox"/> 自然斜面					特記事項								

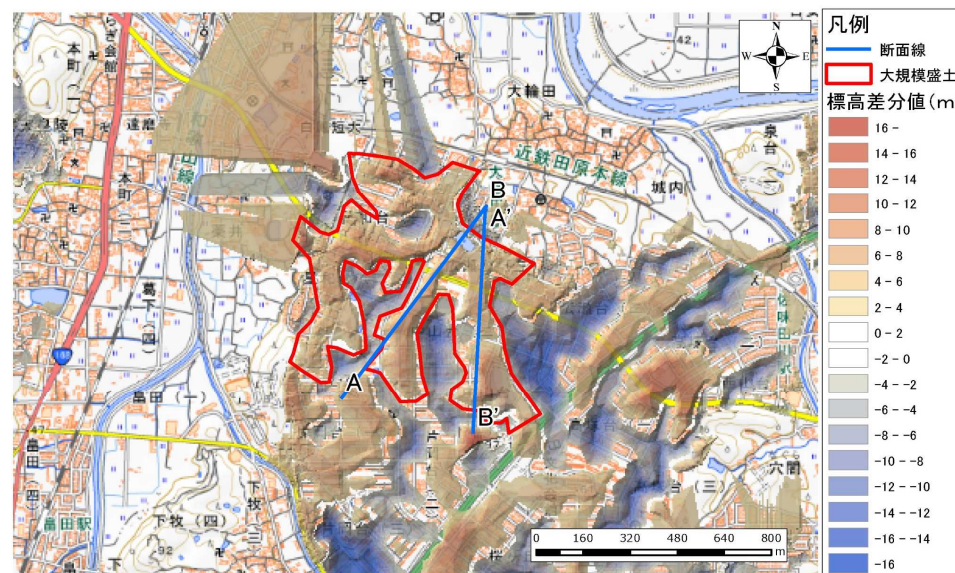
【背景（昭和21年度航空写真）】



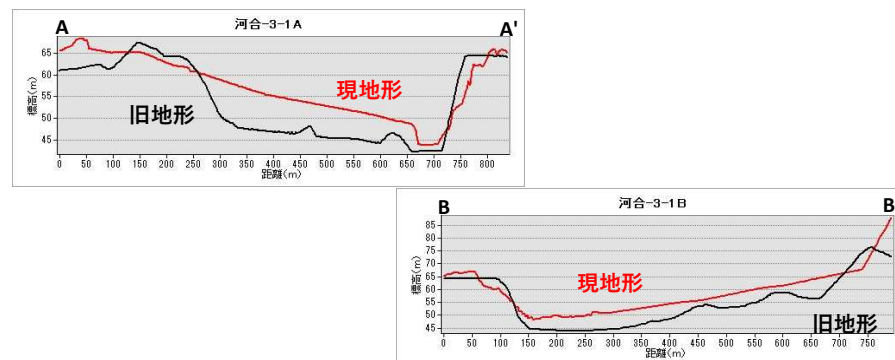
【空中写真】



【差分図（背景現地形図）】



【模式断面図】



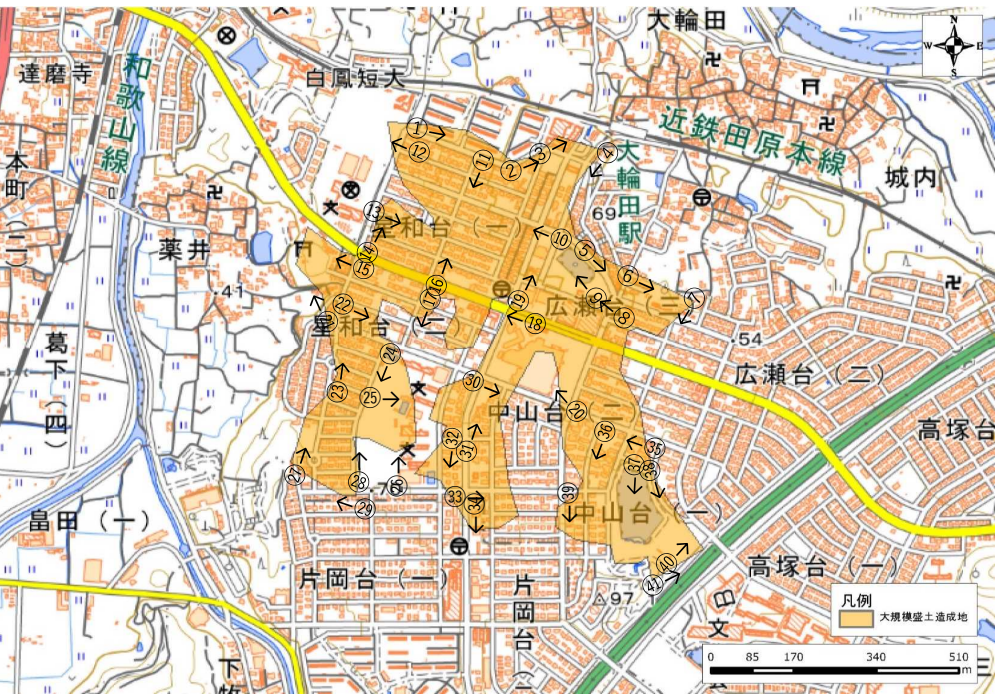
基礎資料整理				現地踏査									
チェック項目	判定	記事		調査日時		天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	■有 □無	(1145) 軒	(集合住宅19棟450軒)		2022年11月7日	9:00	降水量 (mm)	0	0	0	0	0
	・住宅公共施設等	■有 □無	■避難所 (河合第二小学校、河合第二中学校、中山台公園、赤田公園、豊和台公園)			・宅地内の平面図との相違			■有 □無	(建物の取り壊しを確認(工事中))			
	・その他特記事項	—	■緊急輸送路 (県道36号天理王寺線)			・盛土形状の机上調査との相違			□有 ■無	()			
各種指定等	・各種指定の有無	■有 □無	■宅地造成工事規制区域 □災害危険区域 ■人口集中地区DID			・盛土末端部の状況			— □のり面 □擁壁 ■すりつき	()			
	・その他特記事項	—	河合町役場出張所、西大和保育園			土質			□有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 □岩盤	()			
その他	・各種指定の有無	■有 □無	□土砂災害特別警戒区域若しくは土砂災害警戒区域 □急傾斜地崩壊危険区域			質			□有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 ()	()			
	・その他特記事項	—	□砂防指定地 □地すべり防止区域			質			□有 ■無 □礫質土 □砂質土 □粘性土 ()	()			
優先度評価項目				判定(記事)									
⑤	基準年代 (S43)	■前 □後	造成年代 (S41~S51)										
⑥	変動確率	■大 □小	点数方式(方式1) % 点数方式(方式2) 44.4 % 数量化Ⅱ類 58.5 % その他 ()										
【平面図】													
盛土の形状と構造	①	盛土のり面勾配		□急 □適	勾配(1:) (のり面構造ではない)								
	②	小段の設置		□不適 □適	高さ()m 段数()段 (小段なし)								
のり面保護工の設置		□不適 □適	(のり面構造ではない)										
ひな壇部分の傾斜		□急 ■適	傾斜角()° ()										
擁壁構造の適格性	擁壁構造の適格性		□不適 □適	鉄筋コンクリート構造 □無筋コンクリート造 □練積造 □その他 (擁壁構造ではない) 高さ()m 壁面勾配(1:)									
	その他特記事項		—	()									
宅地のり面盤の変状	③	宅地地盤・亀裂、沈下、隆起		□有 ■無	()								
		擁壁とその基礎の変状		□有 ■無	()								
		擁壁背面の変状		□有 ■無	()								
		擁壁の補修履歴		□有 ■無	()								
		ガリ侵食跡		□有 ■無	()								
		表面の不陸又は凹凸		□有 ■無	()								
		亀裂		□有 ■無	()								
		排水溝の変状		□有 ■無	()								
		災害痕跡		□有 ■無	()								
		根曲り		□有 ■無	()								
		道路の変状		□有 ■無	()								
地下水	④	盛土のり面からの湧水		□有 □可能性有 ■無	()								
		擁壁水抜き穴からの恒常的な出水		□有 □可能性有 ■無	()								
		ひな壇部分の擁壁前面部の出水		□有 □可能性有 ■無	()								
		排水工や擁壁の恒常的な湿り		□有 □可能性有 ■無	()								
		盛土のり尻排水工の水没		□有 □可能性有 ■無	()								
		排水工の目地・亀裂からの地下浸水		□有 ■無	()								
		盛土のり尻のため池等の満水位		□有 ■無	()								
		既存井戸水位		□有 ■無	()								
		盛土のり尻の調整池・ため池		□可能性有 ■無	()								
		集水地形上の盛土		□可能性有 ■無	()								
		盛土上ガレージの湿り		□可能性有 ■無	()								
水を好む植生の有無		□可能性有 ■無	()										
その他特記事項		—	(盛土内に池あり)										
盛土の層下	⑤	盛土周辺の崖錐、崩積土		□有 □無 ■不明	()								
		盛土周辺の沖積粘性土		□有 □無 ■不明	()								
		盛土周辺の沖積飽和砂質土		□有 □無 ■不明	()								
その他特記事項		—	()										
【総評】	広範囲に及び宅地造成地であり、盛土の末端部は区域の北側となるが大規模な盛土構造物は無く、すりつき型の谷埋め型盛土である。盛土内には戸建ての住宅が建ち並び、県道沿いは商業地が主となっている。盛土内には目立った変状は見られなかった。また、盛土内に湧水の痕跡は見られない。連続性の高い変状や、変状の集中域等が見られないことから、盛土全体が不安定化している兆候はないものと考えられる。造成年代は基準年以前である。以上より、当該箇所の優先度は「B3」と評価した。 想定被害形態は、地山の勾配が緩く盛土末端部が現地盤にすりつき形状であることから「地形的要因により崩壊には至らない変形」が想定される。								被害形態				
									地形的要因により崩壊には至らない変形				
								優先度					
								B3					



写真1 盛土末端付近の状況



写真2 盛土末端付近の状況



写真3 盛土末端付近の状況



写真4 盛土末端付近の状況



写真5 盛土末端付近の状況

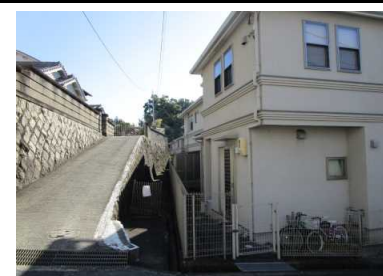


写真6 盛土末端付近の状況



写真7 東側境界付近の土地利用状況



写真8 中央部 土地利用状況

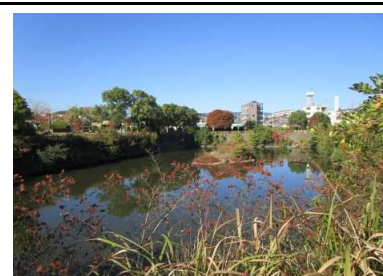


写真9 盛土内のため池



写真10 中央部 土地利用状況



写真11 中央部 土地利用状況



写真12 西側境界付近の土地利用状況



写真13 中央部 土地利用状況



写真14 西側境界付近の土地利用状況



写真15 北側境界付近の土地利用状況



写真16 中央部 土地利用状況



写真17 南側境界付近の土地利用状況



写真18 盛土境界付近の土地利用状況



写真19 中央部 土地利用状況



写真20 西側境界付近のは工事中



写真21 西側境界付近の土地利用状況



写真22 中央部 土地利用状況



写真23 西側境界付近の土地利用状況

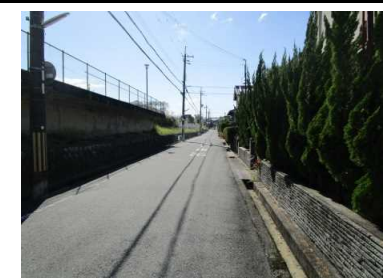


写真24 中央部 土地利用状況



写真25 中央部 土地利用状況



写真26 東側境界付近の土地利用状況



写真27 西側境界付近の土地利用状況



写真28 東側境界付近の土地利用状況



写真29 頭部 土地利用状況



写真30 中央部 土地利用状況



写真31 中央部 土地利用状況



写真32 中央部 土地利用状況



写真33 中央部 土地利用状況



写真34 頭部 土地利用状況



写真35 中央部 土地利用状況



写真36 中央部 土地利用状況



写真37 盛土内のため池



写真38 東側境界付近の土地利用状況



写真39 西側境界付近の土地利用状況



写真40 中央部 土地利用状況



写真41 頭部 土地利用状況



写真42



写真43



写真44

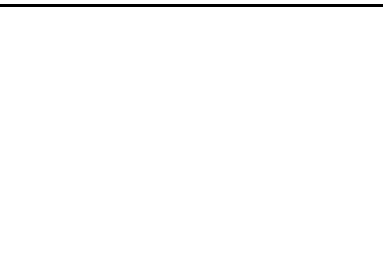


写真45

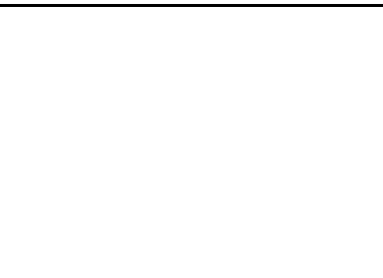


写真46



写真47

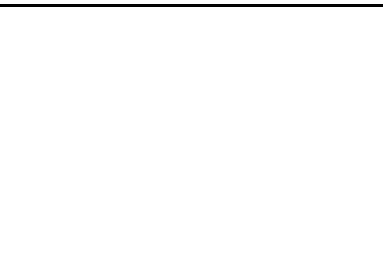


写真48